

年間授業計画 (シラバス)									
学年	1	学科	全学科	単位	2	教科	音楽	科目	音楽 I
学習教材		・高校生の音楽1(教育芸術社) ・Music Navigation(教育出版)							
学習目標		<p>(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>							
単元と学習内容									
1 学 期	(歌唱) ・校歌・翼をください・ひまわりの約束 (鑑賞) ・音楽って何だろう (楽典) ・音部記号・音符、休符の長さ・読譜 (器楽合奏) ・クラッピングカルテット	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい歌唱法(演奏法)を身につける。</li> <li>歌詞の内容や楽曲の背景を研究し、必要な技能を身に付け、イメージを持って表現したり、楽曲の価値を感じ取ったりする。</li> <li>音楽の定義や音楽の目的について言語化し、「音楽とは何か」という問いに対する答えを考える。</li> <li>楽典の基礎を理解し、表現活動や鑑賞活動に生かす。</li> </ul> <p>・豊かな響きになるよう奏法を工夫し、ダイナミックなリズム演奏をする。</p>							
2 学 期	(歌唱) ・ホールニューワールド ・野ばら ・コーラスフェスティバル (混声3部合唱) (鑑賞) ・魔法使いの弟子 (楽典) ・音楽史 ・読譜	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の内容や楽曲の背景を研究し、必要な技能を身に付け、イメージを持って表現し、楽曲の価値を感じ取る。</li> <li>ドイツ語の発音の特徴や、リズムや旋律との関わりを理解し、曲にふさわしい表現を創意工夫して歌う。</li> <li>作曲者が、物語に登場する人物や物を音楽で表現する際に、どのような工夫をしているのかを考える。</li> <li>楽典の基礎を理解し、表現活動や鑑賞に生かす。</li> </ul>							
3 学 期	(鑑賞) ・能「高砂」 ・歌舞伎「京鹿子娘道成寺」 (創作) ・カップス (歌唱) ・この道 ・さびしいカシの木 (楽典) ・音楽史	<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞を通して、様々な日本の音楽に触れるとともに、その良さを味わう。</li> <li>カップスを通してリズム感覚を養うとともに、知識や技能を生かしながら自己のイメージを持って創作活動を行う</li> <li>鼻濁音や子音の発音に注意するとともに、歌詞の発音や背景を理解し、情景を思い浮かべて詩情にあった歌唱表現を工夫して行う。</li> <li>楽典の基礎を理解し、表現活動や鑑賞に生かす。</li> </ul>							
評 価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕			評価のフィードバック				
					1期末	2期末	学年末		
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている</li> <li>創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している</li> </ul>			○	○	○		
②	思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている			○	○	○		
③	主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている			○	○	○		
評価 方法	①			②			③		
	⑦実技試験 ⑧筆記試験			⑦授業の態度(活動) ⑧実技試験			⑦授業の態度(活動)		